

(様式第1号)

2019年4月26日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 大島 伸一 様

領域名：自立に向けた介護実践の指導領域

科目名：応用的生活支援の展開と指導

単位数：2単位

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人静岡県介護福祉士会

団体事務所の所在地：〒420-0856

静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階

電話：054-253-0818

FAX：054-253-0829

E-mail：shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：一般社団法人静岡県介護福祉士会 

申請責任者：会長 及川 ゆりこ

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

| | |
|-------|--|
| 受付 | |
| 確認 | |
| 委員付託 | |
| 追加連絡 | |
| 評価報告 | |
| 理事会承認 | |
| 認証番号 | |

認証申請科目に対する研修の内容

| | | |
|----------------|---|--|
| 申請対象の領域 | 自立に向けた介護実践の指導領域 | |
| 科目名 | 応用的生活支援の展開と指導 | |
| (1) 提供する研修について | | |
| 研修名 | 認定介護福祉士養成研修 | |
| 教育目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護職チームにケアの目標を共有する方法を検討し、共有する力を育成する ・自立に向けた介護実践を介護職チームに指導する力を育成する ・自立に向けた介護実践を理解し、実践できる職場をつくる力を育成する ・他専門職と連携する力を育成する ・他専門職と連携する力を育成する ・介護職の小チームのリーダーにプレゼンテーションの知識と技術を育成する ・介護職の小チームのリーダーにケース検討会議を指導する知識と技術を育成する | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・生物として人間が代謝し、排出することの基礎を理解し、実践・指導できる ・個として人間が歩き、食べ、排泄することの意味を理解し、歩行、排泄、食べることの支援（経口摂取の維持と回復を含む）、拘束しない介護等を実践し、介護職のリーダーとしての役割を理解し、実践できる ・自立するための身体機能、精神機能を評価し、適した用具の活用、他専門職種、ソーシャルサポートの連携等を含めた応用的な支援計画と自己実現を支援する実践の指導ができる ・自立に向けた介護実践を行うための職場のしくみを改善することができる | |
| 研修内容（研修プログラム） | 含むべき内容 | 研修プログラム |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○利用者の状態の積極的な改善を目指した一連のサービス展開について、根拠となる知識（高齢者の解剖生理等）、生活支援全体のプランニング、チームケアの展開における指導の留意点など <ul style="list-style-type: none"> ・代謝と排出 ・歩行・移動の自立 ・排泄の自立 ・食べることの支援と自立 ・身体拘束の廃止など ・虐待をしない人材育成 ・介護チームの理解と指導 ○職場を改善するための指導・育成のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・他の介護職員への生活支援技術の指導方法 ・介護職員への研修プラン ・事例検討の運営に関する知識と技術 ・プレゼンテーションの技術 ・ファシリテーターの役割、チーム作り ・地域資源との関係作り 自立支援、地域生活、介護職チームの指導、基本的人権などの倫理観、他専門職、福祉用具、医学的知識、運動学の知識、尊厳の保持、サービスの改善、職場の介 | <p>第1回 本研修内容の説明</p> <p>第2回 職場の課題の整理 (介護職チームの課題)</p> <p>第3回 介護職員への研修内容の作成 以上集合研修（3時間）</p> <p>第4回 } 第5回 } 第6回 } 第7回 } 第8回 } 以上実地研修（10時間）</p> <p>第9回 職員研修内容と実施方法の再検討</p> <p>第10回 プレゼンテーション技術の実際</p> <p>第11回 プレゼンテーションの指導 以上集合研修（3時間）</p> <p>第11回 } 第12回 } 第13回 } 以上実地研修（6時間）</p> <p>第14回 プレゼンテーション研修内容・方法の検討</p> <p>第15回 事例検討実施方法</p> <p>第16回 事例検討会実施の指導方法 以上集合研修（3時間）</p> <p>第17回 } 第18回 } 第19回 } 第20回 } 第21回 } 以上実地研修（10時間）</p> |

| | |
|----------------|--|
| | <p>護チームの再編</p> <p>第22回 社会資源の捉え方・社会資源との関係作り、 介護職チーム作り 以上集合研修（1時間）</p> <p>第23回 介護職員との社会資源マップの作成1 第24回 介護職員との社会資源マップの作成2 第25回 社会資源マップから関係を作る資源の 選定と関係を作る方法の指導 第26回 社会資源との関係作り実践指導1 第27回 社会資源との関係作り実践指導2 第28回 社会資源との関係作りを通した介護職 チームの育成1 第29回 社会資源との関係作りを通した介護職 チームの育成2 第30回 課題の作成と提出 以上実地研修（14時間）</p> |
| 研修方法 | <p>■通学課程（集合研修）</p> <p>■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○課題学習は事後課題として、自職場で課題を実施。評価は担当講師が行う。</p> |
| 研修時間 | 60 時間（集合研修 20 時間、課題学習 40 時間） |
| 修了要件 | <p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については30分を上限として認める。（レポート課題あり）</p> <p>○事後課題はA～Dの4段階評価とし、D評価の場合は1度のみ再提出を認める。なお、事後課題の提出が期限内に行われない場合、修了を認めない。 A80点以上 B70点以上 C60点以上 D60点未満とする。</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p> |
| 講師要件（講師の選定基準） | <ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了している介護福祉士か同等の力を有する介護福祉士が望ましい ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 |
| (2)受講者について | |
| 受講対象 (受講要件) | <p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。 ・Ⅱ類の本領域以外の全ての科目を修了していること。</p> |
| 修了評価 | <p>修了評価は以下により行う。（①～④の全てを満たすこと）</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。（全課程の出席。但し公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については30分を上限として認める。詳細は修了要件欄を参照。）</p> <p>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。（合格、不合格で判定）</p> <p>③事後課題「職場の介護職員への研修実施、モデル事例検討会の実施と多職員に対する事例検討会の指導」の実地研修により課題の作成をして提出すること。</p> <p>④事後課題の評価がA～Cであること。D評価の場合は1度のみ再提出を認め、C以上の評価を得なければならない。 A80点以上 B70点以上 C60点以上 D60点未満とする。</p> <p>※ D評価の場合未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。</p> |

| | |
|-------------|--|
| (3) 研修の環境条件 | |
| 定員（講師の配置基準） | 40名（講師1名）演習時に10名に1名のファシリテーター（認定介護福祉士又は資格取得後10年以上の介護福祉士）を配置する |
| 開催場所（都道府県） | 静岡県介護福祉士会シズウエル（静岡市葵区駿府町1-70） |

コマシラバス

【応用的生活支援の展開と指導】

1日目【10時間】

本科目に関しては1時間を45分換算とする。

| 区分 | 科目名 | 時間 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-------------|--|
| 1コマ目 | 応用的な個別支援計画と自己実現を支援する実践の指導ができる① | 9:30～11:00 | 90 (講義) 個別支援計画の展開(介護過程) ・根拠となる知識の再確認 ・指導方法 |
| | 休憩 | 11:00～11:10 | |
| 2コマ目 | 応用的な個別支援計画と自己実現を支援する実践の指導ができる② | 11:10～12:40 | 90 (講義・演習) 個別支援計画の展開(介護過程) ・根拠となる知識の再確認 観察・情報収集のポイント アセスメント理論 アセスメントのポイント 仮説や診断方法 |
| | 昼食休憩 | 12:40～13:40 | |
| 3コマ目 | 応用的な個別支援計画と自己実現を支援する実践の指導ができる③ | 13:40～15:10 | 90 (演習・まとめ) 介護職の小チームのリーダーに対する ①個別支援会議の開催の指導方法(プレゼンテーションを含む) ②ケアチームケアの展開における指導方法 |
| | 休憩 | 15:10～15:20 | |
| 4コマ目 | 自職場の課題を整理し課題を改善するための研修の企画と実施(その1の①) | 15:20～16:50 | 90 (講義・演習) ④⑤研修プランの企画・実施 ・自職場の課題の抽出と整理 ・自職場の課題を改善するための研修(指導方法)の模擬的实施(ファシリテーターの育成を含む) ・模擬的实施と内容の検討 ※事前の課題として、介護職チームの課題の抽出を行い、これをレポートして提出することとしている |
| | 休憩 | 16:50～17:00 | |
| 5コマ目 | 自職場の課題を整理し課題を改善するための研修の企画と実施(その1の②) | 17:00～18:30 | 90 (講義・演習) ④⑤研修プランの企画・実施 ・自職場の課題の抽出と整理 ・自職場の課題を改善するための研修(指導方法)の模擬的实施(ファシリテーターの育成を含む) ・模擬的实施と内容の検討 ※事前の課題として、介護職チームの課題の抽出を行い、これをレポートして提出することとしている |

2日目【10時間】

| 区分 | 科目名 | 時間 | 内容 |
|------|--|-------------|--|
| 1コマ目 | 自職場の課題を整理し課題を改善するための研修の企画と実施（その2の①） | 9:30～11:00 | 90 （演習） 自職場の課題を改善するための研修（指導方法）の実施報告（個人ワーク） |
| | 休憩 | 11:00～11:10 | |
| 2コマ目 | 自職場の課題を整理し課題を改善するための研修の企画と実施（その2の②） | 11:10～12:40 | 90 （演習） 自職場の課題を改善するための研修（指導方法）の実施報告（個人ワーク） |
| | 昼食休憩 | 12:40～13:40 | |
| 3コマ目 | 2. 自職場の課題を整理し課題を改善するための研修の企画と実施（その2の③） | 13:40～15:10 | 90 （演習） グループ内で1つをブラッシュアップ |
| | 休憩 | 15:10～15:20 | |
| 4コマ目 | 2. 自職場の課題を整理し課題を改善するための研修の企画と実施（その2の④） | 15:20～16:50 | 90 （演習） 各自の研修プランの再検討 |
| | 休憩 | 16:50～17:00 | |
| 5コマ目 | 2. 自職場の課題を整理し課題を改善するための研修の企画と実施（その2の⑤） | 17:00～18:30 | 90 （演習・まとめ） まとめ（事後課題の提示） |

（演習）※自職場の課題を改善するための研修（指導方法）の実施報告（個人ワーク）

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

| | |
|-------------|--|
| (1) 研修の実施予定 | |
| 実施日 | ① 2021年1月16日 |
| | ② 2021年1月17日 |
| | ③ |
| 開催場所 (会場) | ① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70) |
| | ② // |
| | ③ |
| (2) 講師 | |
| 担当、氏名及び略歴 | <p>○応用的生活支援の展開と指導 NPO法人 ホットスペース中原 東京基督教大学兼任講師 佐々木 炎 氏</p> <p>保有資格 介護福祉士、主任介護支援専門員、サービス管理責任者、 介護教員講習会終了</p> <p>略歴 (職歴、社会活動歴) 職歴 1991年 日本社会事業学校専修科卒 1991年～1993年 特別養護老人ホームめぐみ園にて介護職員 として勤務 1993年～1998年 NPO法人「在宅ケア協会」に介護職員として 勤務 1998年～現在まで ホットスペース中原 代表 「住み慣れた地域で最期まで」をコンセプトに包括的なサ ービスの提供をしている。当事者・家族・各専門職・ボ ランティア・地域の方々とのコミュニティの形成をして いる。 2004年～現在まで 社会福祉法人愛隣会 理事 2016年～現在まで 社会福祉法人牧之原やまばと学園理事 教育活動： 2008年4月 東京基督教大学専任講師 (2009年3月まで) 「介護概論」「社会福祉学」「形態別介護技術」 2009年4月 東京基督教大学非常勤講師 (現在に至る) 「人間の尊厳と自立」「社会福祉学Ⅰ」「公共福 祉学」「コミュニケーション」等 2011年4月 読売理工福祉専門学校 非常勤講師 (現在に至 る)「人間の尊厳と倫理」 2018年4月 上智大学グリーンケア研究所非常勤講師</p> |

| | |
|---------------------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・日本介護福祉士会主催の介護福祉士ファーストステップ研修講師 担当科目「ケア場面の気づきと助言」 実施県支部 静岡、群馬、福井、三重、大阪、鳥取、熊本、鹿児島、 沖縄、京都、滋賀 ・日本介護福祉士会主催の認知症専門研修講師 「認知症の人の共感的理解」 ・認定介護福祉士講師 ・その他 日本スピリチュアルケア学会講師 <p>主な著書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人は命だけでは生きられない」（いのちのことば社） ・「福祉・介護におけるスピリチュアルケア」（中央法規出版）協力 など <p>担当する講義等 事後課題評価 佐々木 炎氏 経歴等は同上</p> |
| (3)実施体制 | |
| <p>研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)</p> | <p>認定介護福祉士養成研修実行委員会（非常勤:6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名） 認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。</p> |
| <p>研修の企画運営に関する諸規程</p> | <p>静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。</p> |
| <p>研修管理責任者職名</p> | <p>会長</p> |
| <p>研修管理責任者氏名</p> | <p>及川 ゆりこ</p> |
| <p>機構問合先部署</p> | <p>静岡県介護福祉士会事務局</p> |
| <p>機構問合先担当者氏名</p> | <p>平野 美智子</p> |
| <p>機構問合先電話番号/FAX</p> | <p>054-253-0818 / 054-253-0829</p> |
| <p>機構問合先 e-mail アドレス</p> | <p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p> |
| <p>受講問合先部署</p> | <p>静岡県介護福祉士会事務局</p> |
| <p>受講問合先担当者氏名</p> | <p>平野 美智子</p> |
| <p>受講問合先電話番号/FAX</p> | <p>054-253-0818 / 054-253-0829</p> |
| <p>受講問合先 e-mail アドレス</p> | <p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p> |
| (4)研修履歴の管理体制 | |
| <p>受講者への付与単位部門</p> | <p>静岡県介護福祉士会事務局</p> |

| | |
|------------------|--|
| <p>受講履歴の管理方法</p> | <p>○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。</p> |
| <p>受講履歴の証明</p> | <p>各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したものには、全課程を修了した証明書を発行する。</p> |
| <p>管理責任者氏名</p> | <p>及川 ゆりこ（会長）</p> |
| <p>管理担当者氏名</p> | <p>平野 美智子（事務局長）</p> |